

阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議（議事録）

令和3年11月18日(木)

【場 所】阿南医療センター 2階講義室 時 間：14:30～16:00

【参加者】地域医療・在宅医師 瀨川 淳 （益崎胃腸科内科医院）
病院関係 寺嶋 吉保 （阿南医療センター）
田上 真澄 （阿南医療センター）
伊勢 真理子 （阿南医療センター）
羽坂 美保 （阿南医療センター）
久積 恵 （玉眞病院）
歯科衛生士 武田 美輪 （徳島県歯科医師会南部歯科連携室）
居宅介護支援 倉橋 智子 （居宅介護支援事業所ほっとピース）
小規模多機能 木村 賢徳 （ライフサポートキムラ）
阿南市役所 日下 浩之 （地域共生推進課）
松崎 由美 （地域共生推進課）
織原 裕希 （地域共生推進課）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
湯浅 祐司 （センター長）

【欠席者】

病院関係 玉置 俊晃（阿南医療センター）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター 福島 咲由理

①地域共生推進課挨拶

- ・日下浩之課長より挨拶

新型コロナウイルス感染症も減少傾向にはあるが、医療と介護を必要とする高齢者の生活を守るため、切れ目無く提供できるよう意見を頂きたい。

②阿南医療センター挨拶

- ・寺嶋 吉保先生より挨拶

県南の医療の中心として阿南医療センターも頑張っており、在宅医療・介護連携支援センターとの連携は必要不可欠なので引き続き、連携・協力をしていきたい。

③瀨川淳先生より挨拶

- ・この会は医療従事者と介護従事者が顔の見える関係づくりで最も連携の図れる会であるので、是非、連携に向けて頑張ってもらいたい。また、コロナ禍における訪問看護等の対策について事例をもってお話をしていきたい。

《ケアカフェについて》

話し合いの結果、以下の内容が決定。

開催日時：令和3年12月9日（木） 15:30～18:00

開催場所：阿南医療センター2階講堂

対象者：居宅介護支援事業所のケアマネジャー、小規模多機能型居宅介護のケアマネジャー・計画作成担当者、阿南医療センター地域連携室職員、ワーキンググループ委員

講義内容：①「糖尿病予防について」 講師：糖尿病予防認定看護師 坂根 容子氏

② 事業案内について

(1)阿南市保健福祉部地域共生推進課より業務内容

地域共生推進課 課長 日下

(2)居宅介護支援事業所の業務内容及び事例紹介

居宅介護支援事業所ほっとピース 管理者 倉橋 智子

(3)小規模多機能型居宅介護の業務内容及び事例紹介

小規模多機能ホームキムラ 社長 木村

(4)阿南医療センター地域連携室の業務内容及び事例紹介

地域連携室 新田

(5)阿南市在宅医療・介護連携支援センターの業務内容紹介

センター長 湯浅 祐司

※新型コロナウイルス感染症対応とし、参加人数は上限60名とする。

・ドリンクを阿南医療センターより提供。

・講義内容は、新型コロナウイルス感染症及び参加人数の制限を鑑み、録画してYouTube等で希望者へ配信。また、広報は阿南市のHP等で行う。

《医療情報連携シートについて》

各医療機関の情報の精査を阿南医師会の協力を得て行い更新を行った。介護支援専門員が対応できるツールとして活用しており、希望者のみ送付する仕組みとさせて頂いております。

《阿南市サービス事業所連絡会について》

阿南市サービス事業所連絡会は阿南市内の福祉サービス事業所の事業別に開催をして連携強化を図る目的であります。各事業に部会長を設け、事業所間の連携強化にも繋げております。その連絡会の中で、何点か医療との連携に対するご質問があり以下の内容で議論を行った。

①グループホーム部会からの意見。

・重度化に伴い嚥下能力が低下している入居者様の対応方法について。

⇒安易にトロミを使用せずに耳鼻科や嚥下外来等を受診して改善を図ってはどうか。また、専門職による講義も開催しているので参加をしたら良い。

・医療と介護の連携として退院者の受け入れで、情報提供シートの食形態の記載項目の改善が必要ではないか。施設で対応できる、対応食の項目の追記等をして、受け入れに対する連携強化の検討をしたい。

⇒医療側より要望に応じて、写真付きレシピを送ることに決定。栄養指導も行うので希望者はソーシャルワーカー等に相談すれば調整を行うことで決定。

②看護小規模多機能居宅介護・小規模多機能型居宅介護部会からの意見。

・パーキンソン病で食形態もトロミ等に対応している利用者があるが、主治医の専門外な病気等もあり、その場合はどこに相談してどのように対応したらよいか？です。

⇒原則、主治医の意見を聞き、紹介等を頂くこと。主治医と担当職員のコミュニケーションに問題もあるので、連携を密に行い友好的関係を築くこと。

《訪問看護・介護の新型コロナウイルス感染症対策について》

瀬川先生より、第6波も予想されるので発熱者対応等の感染予防についてもう一度、徹底することが必要である。発熱者の対応は原則、医師の指示に基づき抗原検査等を行い、サービスや対応については指示を仰ぐように徹底すること。

⇒慣れになってはいけないので、医療と介護の両方から啓発に努めていく。

《在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議、ケアカフェの日程等について》

【予定日】

(ワーキンググループ会議)

第4回：令和4年2月17日(木) 14:30~15:30

(ケアカフェ)

第3回：令和3年12月9日(木) 15:30~18:00

第4回：令和4年3月8日(火) 15:30~17:30

《市民公開講座について》

・令和4年2月実施予定で新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催を行う。
講師として阿南医療センター寺嶋先生にお願いし、講義内容は「ACPについて」を進める。
ワーキンググループメンバーや保健師部会との連携を図り開催方法を考えていく。

《その他》

・広報あなんへの掲載について。

来年度の広報あなんへ在宅医療・介護連携支援センターの取り組みを掲載して、在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の紹介も行う。2月に掲載の写真撮影を行う。

・認知症ケアパスと介護予防啓発パンフレットについて

第2版として完成したので、広く市民へ広報を行っていく。

医療・介護従事者へは会議等で配布をしていく。市民には市民参加型イベントで配布を行う。また、公民館等で配布できるように幅広く広報を行う。

《会議風景》



報告者 センター長 湯浅 祐司